

児童扶養手当の受給率—市区町村における子どもの貧困の状態を探るために

林 和孝（早稲田大学非常勤講師）

子どもの貧困の解決が重要な政策課題となっている。そのためには、言うまでもないことだが、実態を正確に把握する必要がある。

全世帯の相対的貧困率（等価可処分所得の中央値の半分＝貧困線を下回る所得を得ている者の割合）は、2012年の「国民生活基礎調査」では16.1%だった。だが、大人1人と子ども世帯では54.6%と跳ね上がっている。2009年の「全国消費実態調査」では、この比率は62.0%だった。ひとり親世帯の相対的貧困率は極端に高い。それは、子どもの貧困に直結している。

ユニセフの研究所などの報告では、日本の子どもの物質的豊かさは、比較をした34か国中21位で、平均よりも下回っている。日本の子どもの状態は、健康・教育・住宅その他を含めた子どもの幸福度全体では6位にあるが、物質的豊かさが際立って低くなっている（ユニセフ他 2013）。政府の子どもの貧困対策は多面的だが、中核的な課題は経済的貧困の克服にある。

こうした子どもの貧困状況を、地域レベルで把握することはできないか。都道府県レベルでは、最近、推計値が公表されている（戸室 2016）。しかし、市区町村レベルになると、足立区のような先進的な自治体を除いて、実態を把握したものはほとんど見当たらない。

イギリスのイングランドでは、全域を32,844の区域に分けて、細かい近隣レベルの複合的剥奪指標(Index of Multiple Deprivation)をマップ化している。この近隣区域は平均人口約1,500人、または平均世帯数650である。日本の国勢調査にあてはめると、町丁別エリアになるうか。そのエリアごとに10段階に色分けされた地図が公表されているから、自分の住んでいる地域の剥奪（貧困）の度合いが一目瞭然となる。この統計のガイダンス文書は、「人びとはこの指標を何のために利用できるのか」という項目を設けている。

その説明では、中央・地方政府が資金や支援の資源を分配するプログラムなどのために利用しており、ボランティアおよびコミュニティ・セクターもまた彼らのサービスを必要とする人びとのいる地域を確認するために利用しているとしている。

イギリスでは貧困が地域的特性をもち、日本ではそれほどではないという事情があるかもしれない。とはいえ、地域的な貧困状況の把握は、政策立案や支援活動を効果的に展開する基礎資料として必須のものであろう。市区町村の実態調査がすすみ、貧困の地域的な実態が明らかになることを期待したい。

ここでは、市区町村レベルにおける子どもの貧困の地域的な偏在を把握するための予備的な試みとして、児童扶養手当の世帯数に対する受給率を算出した。表のⅠは住民基本台帳による全世帯に対する比率である。Ⅱは子どものいる世帯、Ⅲはひとり親世帯に対する比率であるが、2015年国勢調査結果をまだ利用できないため、2010年調査をベースに東京都が予測したものをを用いた。なお、2010年以降、児童扶養手当受給者の約92%は母子世帯である。

文献

- ユニセフ イノチェンティ研究所・阿部彩・竹沢純子(2013)『イノチェンティ レポートカード 11 先進国における子どもの幸福度—日本との比較 特別編集版』日本ユニセフ協会
- 戸室健作(2016)「都道府県別の貧困率、ワーキングプア率、子どもの貧困率、捕捉率の検討」『山形大学人文学部研究年報』第13号 33-53 ページ
- Department for Communities and Local Government(2015) *The English Index of Multiple Deprivation (IMD) 2015 – Guidance*.

表 児童扶養手当の世帯数に対する受給率（2014年度 市区 %）

No.		I		II		III	No.		I		II		III
1	武蔵村山	2.72	福生	6.57	武蔵村山	25.77	26	日野	1.25	練馬	3.83	日野	15.16
2	福生	2.10	武蔵村山	6.49	青梅	23.21	27	国立	1.24	大田	3.63	台東	14.96
3	足立	2.05	足立	5.77	福生	22.76	28	西東京	1.21	港	3.61	国立	14.94
4	青梅	1.99	青梅	5.53	あきる野	21.59	29	北	1.13	中央	3.58	新宿	14.37
5	昭島	1.92	清瀬	5.26	立川	21.02	30	大田	1.09	国立	3.48	大田	14.36
6	清瀬	1.92	昭島	5.15	江戸川	20.40	31	調布	1.01	小平	3.48	西東京	14.03
7	東大和	1.88	江戸川	5.11	昭島	20.32	32	台東	1.01	豊島	3.46	北	13.59
8	羽村	1.88	葛飾	4.99	羽村	20.28	33	三鷹	0.97	日野	3.43	三鷹	13.56
9	あきる野	1.87	立川	4.83	東大和	19.94	34	狛江	0.89	中野	3.33	港	13.25
10	江戸川	1.83	墨田	4.83	清瀬	19.42	35	品川	0.88	西東京	3.27	調布	12.92
11	東村山	1.71	羽村	4.81	足立	19.30	36	中央	0.84	渋谷	3.26	中央	12.44
12	葛飾	1.69	板橋	4.80	八王子	19.16	37	新宿	0.83	千代田	3.25	品川	12.19
13	八王子	1.68	あきる野	4.80	東村山	18.47	38	港	0.82	品川	3.24	豊島	12.15
14	東久留米	1.68	東大和	4.74	町田	18.34	39	千代田	0.79	調布	3.05	中野	12.00
15	立川	1.64	東村山	4.63	葛飾	17.72	40	豊島	0.78	三鷹	2.96	狛江	11.36
16	町田	1.62	八王子	4.48	東久留米	17.60	41	世田谷	0.78	稲城	2.96	渋谷	11.29
17	多摩	1.48	荒川	4.42	板橋	17.17	42	国分寺	0.77	狛江	2.79	世田谷	11.12
18	板橋	1.41	台東	4.39	府中	17.05	43	中野	0.71	世田谷	2.55	千代田	10.84
19	府中	1.39	東久留米	4.37	多摩	16.98	44	小金井	0.67	杉並	2.48	杉並	10.70
20	荒川	1.35	新宿	4.14	墨田	16.43	45	武蔵野	0.66	目黒	2.39	国分寺	10.27
21	墨田	1.32	北	4.12	練馬	16.36	46	目黒	0.65	武蔵野	2.27	武蔵野	9.89
22	江東	1.31	江東	4.12	稲城	16.17	47	渋谷	0.63	文京	2.26	文京	9.51
23	練馬	1.31	多摩	4.08	荒川	15.74	48	文京	0.63	国分寺	2.17	目黒	9.16
24	小平	1.29	町田	4.05	江東	15.55	49	杉並	0.62	小金井	1.95	小金井	9.05
25	稲城	1.26	府中	3.86	小平	15.20		平均	1.29	平均	3.94	平均	15.61

(注)

- ①児童扶養手当受給者数は、東京都福祉保健局「福祉・衛生統計年報」2014年度版による。
- ②Iは住民基本台帳の世帯数（2014年1月1日）に対する比率。出所：東京都ホームページ「住民台帳による世帯と人口」。
- ③IIは子どものいる世帯（2015年、2010年国勢調査をベースとした予測値）に対する比率。出所：東京都「東京都世帯数の予測」2014年。
- ④IIIはひとり親と子どもの世帯（2015年、2010年国勢調査をベースとした予測値）に対する比率。出所：③と同じ。